

御来屋保育所食育の取り組み ～『食育カルタ』を作りました～

保育所では日頃からさまざまな食育活動をおこなっています。

今回は、2月に行われた生涯学習大会の会場で、ひとときわ目をひいた御来屋保育所の「食育カルタ」について紹介します。



御来屋保育所では、食育活動の一つとして、食育カルタ作りに取り組みました。48文字の読札を3歳以上の子どもたちを中心に親子で、また、絵札を年長の子どもたちが描きました。保護者、子ども、保育士とみんなの力を合わせてカルタを完成させました。この取り組みを時 明美御来屋保育所長が生涯学習大会で報告しました。

きっかけは？

子どもたちは日頃の食育活動の中で、いろいろなことを「見て・感じて」言葉にします。「子どもたちの“かわいいつぶやき”を食育にいかしてみても」という調理師の提案から、食育カルタ作りに取り組むことになりました。

作るにあたっての保育所の思いは？

生活習慣など子どもに身につけさせたいことを大人の視点でカルタにするのではなく、子どもの何気ないつぶやきを保護者が拾うことによって『子どもの成長を感じてほしい』また、子どもと保護者が一緒にカルタを作ることで『食育は大事だということを感じてほしい』という思いがありました。

工夫した点は？

絵札の下絵を描くのに、子どもたちは苦労したようです。イメージがわくように、担任保育士はいろいろな話をしたり、時には図鑑を一緒に調べたりしました。また、絵を描く子、色を塗る子など、みんなが関わられるようにしてカルタ作りをしました。



▲お正月大会で食育カルタとりを楽しみました

みんなで一生懸命工夫したカルタは、その甲斐あって絵を見ても楽しく、読んでもおもしろい「食育カルタ」に完成しました。

早速このカルタを使ってカルタとりをしてみたところ、子どもたちから「楽しかった。もう一回やりたい」と大変盛り上がりしました。

子どもたちと協働で手作りカルタを作成する中で、コミュニケーションを深めながら食についての関心を高めることができたのはもちろん、地域の特産品を知ることでもできました。これからもいろいろな活動をとおして、食の大切さを伝えていきます。